

**ヒダサンショウウオ**

岡山県：準絶滅危惧

サンショウウオ目

*Hynobius kimurae* Dunn

環境省：準絶滅危惧

サンショウウオ科

**選定理由**

岡山県内では県北部の山間溪流に限って比較的広く生息が確認されているが、生息地は局所的で、個体数も少なく、河川開発・林道工事などで消失する可能性が高い。

**存続を脅かす要因**

森林伐採、林相変化、河川開発、川相変化、ダム建設、道路工事(林道工事)、水質汚濁、産地局限

**分布状況**

山地の溪流付近に生息する。日本固有種で、関東地方以西の本州に分布する。岡山県では北部の標高の高い山地の溪流付近に分布が限られている。プチサンショウウオとは、幼生の区別が難しく、新見地方では両種の幼生をカクと混称する。今のところJR姫新線以南での確認例はない。

**生息情報**

小型の流水性サンショウウオで、全長80～150mm前後。背面は褐色で、橙黄色の地衣状斑紋がある。腹面は淡色で斑紋がない。上顎中央の歯列は深いU字形。山地の溪流近くで生活し、小動物を捕食する。4月ころ流水中の石の裏などに1対の透明なバナナ状の卵のうを産み付ける。幼生の爪は黒い。

文献番号 5, 11, 12

(伊藤邦夫、江田伸司、山田 勝)



撮影：山田 勝



**ハコネサンショウウオ**

岡山県：準絶滅危惧

サンショウウオ目

*Onychodactylus japonicus* (Houttuyn)

環境省：該当なし

サンショウウオ科

**選定理由**

県境付近の高標高域の溪流に限って生息する。県内での生息地は限定され、森林伐採、河川開発・林道工事等により絶滅する可能性が高い。

**存続を脅かす要因**

森林伐採、林相変化、河川開発、川相変化、ダム建設、道路工事(林道工事)、水質汚濁、産地局限

**分布状況**

山地の溪流付近に生息する。日本固有種で、本州と四国に分布する。岡山県では北部の標高の高い山地の溪流付近に分布が限られる。生息地は極めて少なく、岡山県内での卵の発見例はまだない。

**生息情報**

小型の流水性サンショウウオで、全長100～190mm前後。尾長は頭胴長より長い。背面は紫褐色で、背面中央に朱黄色あるいは褐色の帯がある。腹面は淡色。肺を持たず、皮膚呼吸をする。山地の溪流近くで生活し、小動物を捕食する。5月ころ湧水中の石の裏などに1対の半透明の棍棒状の卵のうを産み付ける。幼生は爪が黒く、四肢に膜ひれがある。幼生のまま越冬し、3年目に成体となる。大きな幼生は100mmを超える。

文献番号 5, 11, 12

(伊藤邦夫、江田伸司、山田 勝)



撮影：山田 勝

